京都総合福祉協会
1月トピックス

さる、1月１３日京都テルサに於いて「はたちを祝う会」が開催されました。今年は、グループホームの利用者さんで成人になられた方はおられませんでしたが、ホームにお住まいのＮさんが、先輩として新成人の皆さんへお祝いの言葉を述べられました。青年学級に参加されているＮさんは、職員さんと一緒にお祝いの言葉を考えられたり、うまくスピーチができるように練習をされていたようです。お祝いの言葉の最後に、『優しい大人になってください。』とあり、とても素敵な言葉だなと思いました。私も優しい大人になれているのかな…と考えさせられました。

グループホーム北部支援センター

資材がぎっしり詰まっていた、資材棚もご覧のとおりです。閑散期に入った下請班です。作業が忙しい時期にはできないプログラムで利用者の方と一緒に楽しんだり、がんばったりしたいと思います。

すずかけ

療護園のお正月は毎年お重に入った豪華なおせち料理が出ます。皆さんお酒と共にほろ酔い気分で美味しく楽しいお正月を迎えられました。今年は暖かくゆっくりと過ごせました。

療護園

GH西部新年会を1月19日に実施しました。ホテル平安の森にて昼食会、参加利用者さんひとり一人が今年の抱負を個性豊かに発表され、その後　ポカポカ天気の中、平安神宮にて初詣参拝をしました。皆さん嬉しそう😊

グループホーム西部支援センター

12月中旬からインフルエンザ、そして年始からはコロナが流行し、年末年始、帰省を楽しみにされていたご利用者も含め、そろって更生園での年越しとなりました。「おせち」もお弁当になりましたが、おいしくいただきました。

更生園

今年も二十歳を祝う会を開催しました。今年は3名の方が二十歳を迎えられ、ご家族や支援学校の先生、第三者委員の方もお祝いに集まってくださいました。歌やプレゼントなどお渡しし、主役の皆さんからも一言ずつ感想をいただきました。皆さんおめでとうございます！！

コスモス

今年は青森など大雪で困っておられる地域もありますが、京北はほとんど雪が降っていません（1月時点）。10センチくらい積もった日が2日あったくらいで雪はすぐに解けました。比較的過ごしやすい日々でしたが子どもたちは体調不良のための休みが多かったです。週1回の療育の休み明けは、子どもたちは元気にやってきて急いでプレイ室に入って行きます。

すぎのこ教室

1月といえば初詣！新年の爽やかな空気の中、今年一年の無事を願ってきました。併せて行ったランチ中の方が笑顔が多かったのは、ここだけの秘密にしておきます。

授産園

利用者Hさんに「グリーンブック」という映画を教えてもらいました！

心温まる素敵なストーリーでした。また、この映画には歴史を背景にしたメッセージも込められているのですが、博識なHさんがその歴史の流れも含めて解説をしてくださいました。

こうして、映画をきっかけにHさんからいろんなことを教えてもらえる時間がとても楽しいです。

紫野授産所

12月に3階の向日葵さんへ出張ステンシル教室へ行ってきました。久しぶりの出張でしたが、皆皆さま　とても良い表情で楽しまれているご様子でした。2025年のステンシルカレンダーが出来上がりました。

花水木

2月の節分に向けて、福豆の作業をいただきました。2,500袋、みんなで完成させました。桂授産園に良い福が舞い込んできますように。

桂授産園

１月のヘルパー研修は、昨年行われた京都府・京都市の虐待防止に関する研修の内容を中心に伝達していく内容と、身体拘束の適正化について話をしました。また、利用者様に行った虐待防止に関するアンケートの結果について全体共有も行い、よりよいサービス提供に向けて色々な話ができました。

樫原・鷹峯居宅支援センター

1月になり、受付をふと見ると「なぎまる」のマスコットが、お正月の模様替えをしておりました。仕事中、足を止めてほっこりしました、模様替えしてくれるスタッフに感謝です。

かがやき

マナー講座２回目は、ｷｬﾋﾟﾀﾙ東洋亭で優雅にランチ♪ナイフ＆フォークでエレガントに食べる方や慣れたお箸で食べる方。服装もオフィスカジュアルで、皆さんマナーをしっかりとまなびつつ、楽しい時間を過ごされました。

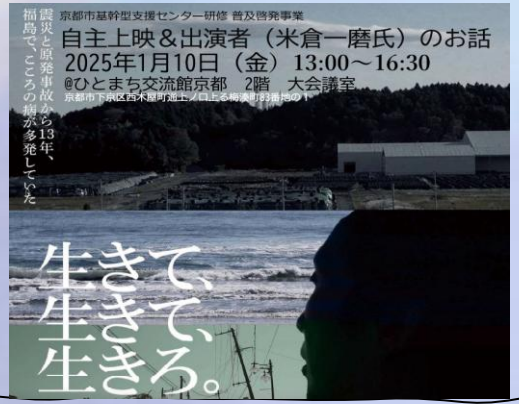
就業・生活支援センター

右京区地域包括支援センター運営協議会（健康長寿推進課、介護保険関係のセンター、社協など）と準備を重ねてきた「右京区マンション交流会～住みよいマンション暮らしを考える～」が1月30日に開催されました。災害・孤立化対策の一環としてまずは住民が取り組みをしているマンションから事例を紹介してもらい、マンション住民同士のつながり作りに活かしてもらおうと企画したものです。

始めての試みでしたが、40名近いご参加があり、マンション内でのサークル活動のこと、ちょっとした助け合い活動のこと、自治会のこと、管理会社との関係、修繕のことなどは幅広い話題が飛び出し、2時間では話足りない充実した時間となりました。

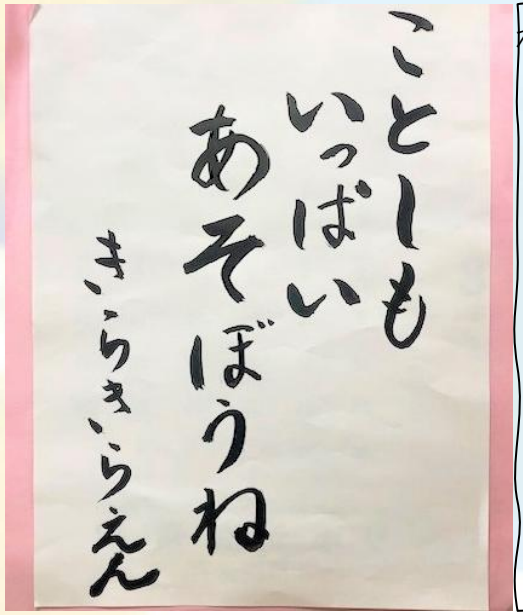
高齢者、障害のある方、子どもも大人もみんなが住みやすい社会を目指していきたいと感じる機会となりました。

うきょう



京都市基幹型支援センター研修に参加してきました。震災と原発事故から13年、福島では遅発性PTSDなどこころの病が多発しています。そんな中でも日々を何とか生きようとする方々とそれを支える医療従事者のドキュメンタリー映画を見た後、ゲストとして来られた映画を製作された米倉さんの貴重なお話を伺いました。今、何が起きているかを知り今後できることを考えていきたいと思いました。

らくさい



入口のこどもによく見える位置に、毎年張り出しています。きらきら園の職員からこどもたちへのあいさつです！いっぱい遊ぼうね！

きらきら園